

急性期脳梗塞における CT, MRI 検査の標準化に関する研究
平成 18 年度第一回全体会議 議事録

日時: 2006 年 7 月 15 日 10:00-12:00

場所: 経団連会館 906 号室 (東京都千代田区大手町 1-9-4)

出席者: 五十嵐博中、井田正博、井上敬、稲垣徹(齋藤孝次)、上原敏志、緒方利安(岡田靖)、小川彰、興梠征典、笹木工、佐々木真理、酒向正春、佐藤博司、高野浩一、戸村則昭、平井俊範、平野照之、古井英介、前田正幸、原田雅史、松井美詠子、百島祐貴、山田恵、渡辺嘉之 (五十音順、敬称略)

来賓: 峰松一夫先生、顧問: 寺山靖夫先生、中河原譲二先生、外部顧問: 湯浅龍彦先生 (順不同)

I. 挨拶

開会にあたり、来賓の国立循環器病センター内科脳血管部門 峰松一夫先生よりご挨拶を頂戴した。

II. 審議事項

1. 平成 17 年度第二回全体会議議事録の確認

主任研究者佐々木より平成 18 年 2 月 18 日に開催された平成 18 年度第二回全体会議の議事録が提出され、承認された。

2. 平成 18 年度研究組織について

佐々木より本年度の研究組織について説明があった。北海道大学工藤先生の海外留学に伴い、熊本大学平井先生に分担研究者にご就任いただくことになった。各委員会の構成は昨年そのまま継続することとした。

3. 平成 18 年度成果中間報告

各委員会より本年度の研究成果について説明があった。

a. 工藤先生開発 CTP/MRP 解析ソフトウェアの開発状況について

百島先生より標記ソフトウェアの特徴、機能について紹介があった。近日中に班員対象に公開し、実際に試用して頂くこととした。また、特許・実用新案の申請について検討することとした。

b. 急性期脳梗塞における CT, MRI 検査の実践的ガイドライン策定委員会

渡辺先生より実践ガイドラインの策定方針と進捗状況について説明があった。順調に作業が進行しており、本年度中に完成・出版を予定することとした。また、CT/MR 灌流画像実践ガイドラインの外部評価が終了し、完成に至ったことが報告された。近日中に Web 公開することとした。

寺山先生より外部評価の講評を頂戴した。今後、英語版の公開も予定することとした。

c. 頭部 CT, MRI の画質評価・読影訓練システムの確立に関する委員会

井上先生より ASPECTS, ASPECTS-DWI の読影訓練システムの開発状況について報告があった。DWI では b0 画像の参照を検討することとした。また、ASPECTS-DWI において淡い病変や点状の病変をどのように扱うべきか、今後検討することとした。

30 例前後の登録をめざすこととし、班員各位へ画像提供の協力をお願いした。

d. 頭部 CT, MRI の精度・診断能に関する検証委員会

佐々木より DWI 表示条件の標準化手法が血栓溶解療法や Prion 病の多施設研究に採用予定であることが報告された。平井先生から読影実験の中間報告があり、標準化手法では従来法と比べ ROC 解析による最大尤度比のばらつきが少ない傾向があることが示された。

ADC 値の精度に問題のあったメーカーが既に改良版を開発し、本年中に全てのサイトの改修が終了する予定であることが報告された。

ファントムを用いた頭部単純 CT の客観的な画質評価基準の確立のための多施設実験を実施予定であることが報告された。

e. CT/MR 灌流画像の解析精度・信頼性に関する検証委員会

佐藤先生より、工藤先生開発のソフトウェアの開発と検証を引き続きおこなっていくことが報告された。笹木先生から CT 灌流画像ファントムを用いた検討結果および CT/MR 共用ファントムの開発状況について説明があり、今後とも開発を進めて頂くこととした。

f. CT/MR 灌流画像の定量性向上に関する委員会

山田先生より、最近の systematic review の紹介と、大脳白質で正規化した CBF 値を用いた検討結果の報告があった。定量値での評価には限界があることが示され、定量の是非について活発な議論がなされた。

g. CT/MR 灌流画像と他の脳循環検査の比較に関する委員会

上原先生より、慢性脳虚血における MR 灌流画像と PET との比較検討に関する報告があった。今後工藤先生のソフトウェアを用い、慢性脳虚血、急性期脳虚血に関する検討を続けていただくこととした。

h. 国立精神神経センター国府台病院神経内科 湯浅龍彦先生より全体の講評を頂戴した。

4. 広報委員会報告

百島先生より、本研究班のウェブページに企業や海外からのアクセスが見られ、広報活動が一定の成果を挙げていることが報告された。現在、CTP/MRP 灌流画像解析ソフトの登録・ダウンロードページを開発中であり、近日中に班員向けに公開する予定であることが報告された。

III. 挨拶

閉会にあたり、中村記念病院脳神経外科 中河原譲二先生、岩手医科大学脳神経外科 小川彰先生よりご挨拶を頂戴した。

—散会—

(文責 佐々木)